

## 参議院農林 水産委員会

### 紙智子議員が「加計ありき」を追及 内部文書裏付ける重要答弁引き出す

6月1日の参院農林水産委員会で日本共産党の紙智子議員は、安倍政権が国家戦略特区で決めた、52年ぶりの獣医学部新設が、学校法人「加計学園」ありきだった問題を追及しました。共産党の小池晃書記局長が明らかにした16年9月26日文書・「内閣府審議官との打合わせ概要(獣医学部新設)」には、「今治市構想について、獣医師会から文科省・農水省に再興戦略を満たしていないと指摘する資料が届いており」と記されていることを指摘、度々の質問に、山本有二農水相は「9月23日に日本獣医師会の蔵内勇夫会長と懇談した際に要請文を受領した」ことを明らかにしました。「概要」には、獣医学部新設に難色を示す文科省を、内閣府が「官邸の最高レベルが言っていること」「できないという選択肢はない」と一蹴する様子が記されています。山本農水相が同文書にある日本獣医師会からの資料(要請文)の存在を認めたことは、「概要」の信ぴょう性を裏付ける重要答弁です。紙議員は獣医学部新設が、農水大臣の判断とされているが、当時の事務次官が和泉洋人首相補佐官に文科省の早い対応を迫られたと証言しており、「大臣の判断の前に圧力をかけたに違いない」と補佐官の参考人招致を要求しました。また、すでに2040年までの獣医師の需給見通しが推計されているのに「新たな需要があるというのなら推計を見直すのが農水省の役割だ」と指摘。国会で集中審議をすべき問題として、日本獣医師会など関係者の招致を求めました。質疑の要旨を紹介します。(詳細は「議事速報」でご覧ください。)

# 「獣医学部新設は農水大臣の判断と言うが、その前に首相補佐官が圧力をかけた疑いが高い。補佐官の参考人招致を求める」

## 学校法人「加計学園」問題



質問する紙議員  
= 1日、参院農水委  
(写真はしんぶん赤旗提供)

獣医師会は一貫して「獣医学部の新設反対」なのに、諮問会議がそれを決定したプロセスを明らかにせよ  
紙議員 「11月9日の国家戦略特区諮問会議において、獣医学部の新設が決まりました。私は、決定に至るプロセスを明らかにするように要求したけれど、回答がいまだに明らかになっていません。文科省の前川喜平前事務次官は、安倍首相の意向が強く働いたことを示す文書は確実に存在したと証言し、和泉洋人首相補佐官に呼ばれ、早く手続きを進めるように要求されたと言っている。疑惑はますます深まっている。松本副大臣は経過説明で獣医師会などから出された慎重な意見があると答弁しています。内閣府にはいつ頃提出されているのですか」**松本洋平内閣府副大臣**「日本獣医師会の酒井副会長、北村顧問が山本大臣を来訪し、獣医師会の考え方を述べたと聞いています。一貫して獣医師会は慎重な立場であることや、文科省、農水省との議論などから総合的に判断し、地域を限定することを山本大臣がご決断になったものです。」**紙議員**「慎重な意見とは、どういう意見かと聞いています」**松本副大臣**「のりくらりと答えないため、紙議員は「質問通告をしているのに、ちゃんと答えてください」と再三求め、**松本副大臣**は「獣医師会は従前から新設に慎重な立場をとっており、山本大臣との会談においても新設には反対であるとお話をしていただいています。」と渋々明らかにしました。

「関係者の意見も聞かず首相一存で行政を変え、岩盤と称して規制改革を行う手法は間違っている」

紙議員 「最終的に山本大臣が決断したと言うが、前事務次官は首相補佐官に対応を早くと言われたことを証言している。大臣が総合的に判断する前に、首相補佐官が圧力をかけた、その疑いが高い。真実を明らかにするため和泉洋人氏の招致を要求します。」「わが党の小池晃書記局長が明らかにした、『内閣府審議官との打合せ概要』という文書に、今治市構想について獣医師会から再興戦略を満たしていないと指摘する資料が届いているとあるが、農水省は資料を受け取っているのですか」**山本農水相**は様々に答弁をしましたが、紙議員の再三の求めに「9月23日、蔵内会長が来られ、要請文を受領している」ことを明らかにしました。紙議員 「獣医学部の新設に獣医師会の蔵内会長は、『このような国家戦略特区による獣医学部の新設は、これまで関係者が実施してきた国際水準達成に向けた努力と教育改革に全く逆行するもので、不適切である』と指摘している。」「獣医師会から再興戦略を満たしていないと指摘する資料が届き、見解を公表しているなら、農水省は積極的に調整するべきだった。なぜならば、農水省は2007年に2040年までの獣医師の需給見通しを推計している。その需給見通しに影響するのではないですか。この獣医師の見通し検討会には日本獣医師会からも参加している。結局、関係者の意見もまともに聞かないで首相の一存で行政を変える、岩盤と称して規制改革を行う、こういう手法は間違っています。農水省が獣医師の需給見通しを見直す役割、責任がある。検討しないなら国会がやるべきだ。そのために、日本獣医師会をはじめ関係者を招致して集中的な議論をすべきだ、何よりも、特区に名を借りた政治の私物化はやめるべきだと申し上げて、質問を終わります。」